

## ものづくりの競争力と 人材活用の課題

04年9月に策定した第2賃金・労働政策の中で、「無秩序な非典型労働の拡大は、ものづくり産業の競争力の源泉である技術・技能の蓄積を危うくする恐れもある。一方で雇用形態の多様化に対応して公正な処遇を追求することが喫緊の課題である」と述べています。今号では、改正派遣法の実施により04年3月以降、製造工程への労働者派遣が可能になったことを踏まえ、製造業務請負の適正化のあり方など、産別調査結果も踏まえ、「ものづくりの競争力と人材活

用の課題」について特集します。

ものづくり産業における人材活用の課題について佐藤博樹東京大学教授の論文「ものづくりを支える競争力基盤と人材活用」をはじめ、事例報告として電機連合とJAMが実施した製造業務請負業の活用実態調査結果を紹介します。また、海外事例として、近年、日本以上に非典型労働が増加している韓国の非典型雇用問題に関する論文を掲載します。

(文責・編集ⅡIMFJC組織総務局)



